

後援会連絡所 〒323-0807 栃木県小山市城東 3-14-5 0285-20-5000
 ホームページ <http://www.city-oyama.com/yamanoi.htm>
 メールアドレス yamanoi.takashi@tvoyama.ne.jp

発行責任者：津布久正夫
 編集者：金田 正浩
 発行日：2009年10月5日



日頃からのご支援に対し、心から感謝申し上げます。
 小山市民、小山で働く皆さんが元気に明るく暮らせる小山市をめざし、頑張ってまいりますのでよろしくお願い致します。

平成 21 年第 4 回小山市議会定例会が、9 月 3 日から 29 日の日程で開催されました。本議会に上程された議案は、『平成 21 年度小山市一般会計補正予算』等、補正予算 5 件、『平成 20 年度小山市一般会計歳入歳出決算の認定』等、各会計決算の認定 13 件、条例の一部改正 4 件の他、『教育委員会委員の任命』、『公平委員会委員の選任』、『固定資産評価審査委員会委員の選任』等、全部で議案 29 件、報告 5 件であり、全議案が原案通り可決または認定されました。

また、今議会で初めて建設水道常任委員会委員長の職を務めさせていただきました。緊張しましたが、委員会の議事進行および議会最終日での委員長報告を無事済ませることができて、正直ほっとしています。

主な議案

【平成 21 年度小山市一般会計補正予算】

15 億 1,804 万円余を増額補正するもので、主な財源は国庫支出金 8 億 2,226 万円余、県支出金 2,738 万円余、繰越金 1 億 8,055 万円余、市債 4 億 6,460 万円余などとなっています。これは、国の補正予算で示された緊急経済対策によるものが多く、主な事業費の増額は以下の通りであります。

- ・女性がん検診費 +21,291 千円
- ・新型インフルエンザ対策費 +3,000 千円
- ・大谷東小校舎等整備事業費 +452,000 千円
- ・小学校太陽光発電設置事業費 +184,500 千円
- ・小学校校舎・屋内運動場耐震化事業費 +485,360 千円
- ・中学校太陽光発電設置事業費 +82,000 千円

【平成 20 年度小山市一般会計歳入歳出決算の認定】

< 歳 入 > (単位：千円・%)

	本年度	前年度	対前年度比
決算額	52,914,078	53,467,962	-553,884
自主財源比率	72.7	72.1	+0.6
依存財源比率	27.3	27.9	-0.6

< 歳 出 > (単位：千円・%)

	本年度	前年度	対前年度比
決算額	51,154,911	51,665,421	-510,510
義務的経費比率	44.2	44.2	0.0
投資的経費比率	13.1	13.9	-0.8
その他の比率	42.7	42.0	+0.8

【特別会計決算】

特別会計は国民健康保険特別会計など 10 会計であり、歳入決算額の合計は 31,689,714 千円（前年度比 -7,502,026 千円）歳出決算額の合計は 30,813,072 千円（前年度比 -7,943,898 千円）でありました。

【中国・浙江省紹興市との友好交流関係都市締結について】

小山市では国際交流を積極的に推進 しており、平成 16 年 2 月の浙江省からの栃木県への友好訪問団の訪問をきっかけに交流が開始され、当市と紹興市の双方から、商工団体や学校関係者などが相互訪問を進め、現在に至っています。今回、4 年間の交流の実績を踏まえ、今後の交流をさらに発展させることを目的に、友好交流関係都市を締結することになりました。

昭和 50 年 5 月から中国・本溪市と交流を進め、平成 6 年 10 月 28 日に友好交流に関する協定書を締結。平成 14 年 10 月からはオーストラリア・ケアンズ市と交流を進め、平成 18 年 5 月 15 日姉妹都市盟約を締結しました。

市政一般質問要旨

【環境行政】

Q:小山広域保健衛生組合では、今年3月に一般廃棄物処理基本計画及びゴミ処理施設建設基本構想をまとめ、新たなゴミ処理施設の各市町への配置計画を策定した。小山市には熱回収施設を建設することになったが、施設建設に向けた状況について伺いたい。

A:小山市では、熱回収施設の能力、規模等の具体化を待って、施設の用地選定を周辺の関連施設等との整合性や地元住民の皆様の意見を伺いながら組合とともに検討していきたい。

Q:栃木県では県内スーパーなどとレジ袋無料配布の中止の協定を結ぶことが報道された。小山市ではこの取り組みをどのように評価するのか。また、どのように協力していくのか伺いたい。

A:小山市としては、環境負荷の少ないライフスタイルへ変えるきっかけとして効果的であり、問題点を整理し、商工団体等をはじめ各種団体、市議会、市民の皆様の意見を伺い、適切に対応していきたい。

【子供の安全・安心】

Q:「子供避難の家」は何軒あるのか。協力者に対する依頼方法はどのようなになっているのか。また、利用状況がどうなっているのか伺いたい。

A:「子供避難の家」は全小学校区で約5,000世帯が登録している。これまでに不審者回避が数件あるほか、けがの手当てや雷雨の際の雨宿りなどの利用がある。依頼にあたっては、想定される状況や対応の仕方を説明し、緊急時に子供たちを受け入れていただけるように配慮している。中には子どもが保護者と一緒に感謝の気持ちを伝えるに訪問したり、給食や運動会に招待している学校もある。

Q:交通安全については、家庭におけるしつけが基本であることは当然であるが、学校での教育も大変重要な役割を持っている。どのような交通安全教育を行っているのか伺いたい。

A:小学校では19回開催し、5,516名、中学校では2回開催し、834名が受講し、交通ルールの説明の他に交通教育用信号機を使った交差点の渡り方や自転車の乗り方の実技も指導している。今後も、多くの方が交通安全教室を受講し交通安全に努めてもらうように指導していく。

Q:安全で安心な場所であるはずの公園が若者達のたむろする場所になったり、ホームレスの居場所になっていると聞いている。公園に防犯カメラの設置を要望する声があるようだが、市の考え方を伺いたい。

A:公園の生垣、樹木等で死角になる場所をチェックして、生垣、樹木の剪定伐採により見通しを良くするとともに公園のパトロールの強化を図っている。公園管理者だけでなく、公園街路里親会議などの近隣住民の方にも管理や見守りに協力いただいている。今後はさらに防犯に重点を置いた取り組みをお願いしていく。

Q:旭小西側の市道2070号線で『ハンプ』の工事をしていて。私自身は『ハンプ』は速度抑制に効果があると考えているが、今回『ハンプ』を設置するに至った経緯、考え方および今後の取り組みについて伺いたい。

A:平成14年度にグリーンベルトを設けたが、その後の児童数の増加で安全対策が不十分であるとしてガードレールや歩道整備の要望が相次いだ。関係者で話し合いを行い、速度抑制効果のある『ハンプ』を1箇所小学校付近に試験的に設置することになった。今後は、効果を検証しながら関係者と検討していく。他の地区での取り組みは地元関係者や関係機関と協議していく。

【各種団体の支援】

Q:平成21年度当初予算において約290の団体に約19億円の補助金を補助している。前年度と比較して約3,400万円を減額したが、団体等補助金見直しの妥当性に疑問がある。見直しの基準等について伺いたい。

A:団体等補助金の見直しについては、被交付団体の事業の実態を把握、事業の達成度、効果、決算の状況等を判断しながら予算編成を行った。今後も透明性、公平性、公益性の確保に努め、限られた財源を有効活用するためにも継続、廃止を含めた検討を行っていく。

市政相談

耕作放棄地となっている畑に大量の雑草が生え、道路まではみ出してしまい危険であるとともに、害虫の被害等が心配であるとの相談を受け、小山市環境課経由で地権者に対応をお願いしました。



- ・次回の議会は12月1日から24日の日程で開会される予定です。議会の傍聴をお願いします！
- ・議会を市民の皆さんにご覧いただくため、テレビ小山の5チャンネルで本会議を生中継しています。土曜日、日曜日には再放送もありますので、ぜひご覧ください。
- ・小山市議会および山野井たかしへのご意見・ご要望をお待ちしています。